

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名【新】東濃牧場返還土地施設撤去費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 畜産基盤係 電話番号：058-272-1111(内2878)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,580 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	20,580	0	0	0	0	0	0	0	20,580
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

東濃牧場の土地は、昭和46年に設置時より借地であり、恵那市を通して多数の地権者から借りているものである。令和2年度中に行った令和3年度からの第V期の契約更改交渉においては、牧場の経営形態の変遷により利用率が下がっている土地もあることから、牧場の土地利用を見直し、低利用の土地の返還についても協議したところである。

令和3年度に入り、返還対象の土地の測量を実施し、今後、返還に向けた交渉に入るが、交渉が成立し、返還となった場合は、返還土地にある牧柵等の工作物を撤去し、更地にした上で、土地所有者に返還する必要がある。

(2) 事業内容

東濃牧場岩村牧区の土地返還に伴い、原状回復のため牧柵等の工作物の撤去工事を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	20,580	東濃牧場岩村地区の土地返還に伴う工作物撤去工事に要する費用
合計	20,580	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

返還した土地については、後年度の財政負担無し。

(2) 事業主体及びその妥当性

土地返還に際し、借主である県に、借用期間中に設置した工作物を撤去する義務がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

東濃牧場岩村牧区として借りている土地を一部返還するに際し、土地にある牧柵等の工作物を撤去し、更地の状態とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

土地の返還に伴い、原状回復のための工事を行うものであり、指標の設定にそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 岩村牧区以外の低利用地については、牧場の再編整備などを検討した上で、利用を推進していくことで、牧場全体としての土地利用の適正化を図っていく必要性がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】